

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

| | |
|---------|------|
| *科目 No. | 1107 |
|---------|------|

科目概要記入欄

| | | | | | | |
|---------------------------|---|----------------------|-------------------|--|------------|----------|
| 1. 開設大学 | 広島経済大学 | | 開催方法 | <input type="checkbox"/> ■対面（本学） | | |
| | | | | <input type="checkbox"/> オンライン（同時・録画・資料提示） | | |
| 2. 科目名 | 正式科目名 | 電子金融取引 I | | クラス名 | | |
| | 副題 | 情報技術と決済システムの基礎について学ぶ | | 配当年次 | 3 | |
| | 旧科目名 | | | 受入学年 | 3年以上 | |
| | 学問分野 | 番号 | 27 | 名称 | 社会科学系, その他 | |
| | サテライトで開講される科目の科目群 | | | A群 | B群 | |
| 3. 担当教員名 | 久保 大支・ビジネス情報・助教 | | | | | |
| 4. 単位数 | 2単位 | | 5. 開講学期 | 前期 | | |
| 6. 開講期間 曜日・時間 | 2021年 4月 13日（火）～ 2021年 7月 27日（火） 火曜日 9:00～ 10:30 | | | | | |
| 個別開講日 | 1回目 4/13 | 2回目 4/20 | 3回目 4/27 | 4回目 5/11 | 5回目 5/18 | 6回目 5/25 |
| | 7回目 6/1 | 8回目 6/8 | 9回目 6/15 | 10回目 6/22 | 11回目 6/29 | 12回目 7/6 |
| | 13回目 7/13 | 14回目 7/20 | 15回目 7/27 | 16回目 | 試験日 | / |
| 7. 基礎知識の有無 | 2. 「基礎知識を必要としない科目」 | | | | | |
| 8. 募集人数 (総授業定員) | 人 (人) | | 9. 定員超過時の 選考方法 | なし | | |
| 10. 科目内容・ 授業計画 | <p><科目内容> 情報技術(IT)革命の進展は、金融サービス・金融市場においても急速に様々な構造的変化をもたらしています。本講義では、このようなサービスや市場における電子的な取引について、理論的な分析と実際のケーススタディの両面から考察するためのベースとなる基本的な金融理論、金融知識について学修します。</p> <p><授業計画> 第01回 Ch.0 イントロダクション：講義概説、成績評価法、目的と方法論 Ch.1 貨幣と金融取引(1)：経済主体と経済活動、貨幣の起源／第02回 Ch.1 貨幣と金融取引(2)：貨幣の機能、金融取引の基礎概念／第03回 Ch.1 貨幣と金融取引(3)：家計の金融行動／第04回 Ch.1 貨幣と金融取引(4)：企業の金融行動、市場均衡 Ch.2 金融取引と不確実性(1)：リスクの存在とリスク下の金融行動／第05回 Ch.2 金融取引と不確実性(2)：家計の資産選択問題／第06回 Ch.2 金融取引と不確実性(3)：企業の資本構成問題 Ch.3 金融市場と金融取引(1)：金融市場の分類と機能の概要／第07回 Ch.3 金融市場と金融取引(2)：短期金融市場と資本市場／第08回 Ch.3 金融市場と金融取引(3)：インターバンク市場、オープン市場／第09回 Ch.4 決済システムと金融取引(1)：決済の定義、決済と決済システム／第10回 Ch.4 決済システムと金融取引(2)：各種の決済手法／第11回 Ch.4 決済システムと金融取引(3)：決済リスク／第12回 Ch.5 電子金融取引の現状と社会制度(1)：これまでの歴史と現状／第13回 Ch.5 電子金融取引の現状と社会制度(2)：現在の法制度／第14回 Ch.5 電子金融取引の現状と社会制度(3)：これからの制度の在り方、消費者保護とプライバシー／第15回 Ch.5 電子金融取引の現状と社会制度(4)：セキュリティ、電子署名</p> | | | | | |
| 11. 試験・評価方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・成績は課題：40%、定期試験（参照不可）：60%の比率で総合的に評価します。 ・以上にかかわらず課題未提出3回以上で単位認定不能とします。 | | | | | |
| 12. 別途負担費用 | ありません。 | | | | | |
| 13. その他特記事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・金融に関する知識を得るために金融論 I, 金融論 II を履修することが望まれます。 ・電子金融取引 I のより現実的な応用を知るために、後期に開講される電子金融取引 II とセットで履修することが望まれます。 ・①授業への参加、②終了時アンケート、③授業のまとめの提出をもって「出席」とみなします。 ・遅刻は2回で1回の欠席とみなします。 | | | | | |
| 14. サテライト科目の 社会人受講について | 科目等履修生（単位付与）として受け入れ | | | 可 | 否 | |
| | 聴講生（単位認定不要）として受け入れ | | | 可 | 否 | |

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料提示）へ変更になる場合があります。